

障害のある学生の修学・就職支援促進事業 選定状況

(1) 選定状況

申請件数：3件、選定件数：2件

(2) 選定事業一覧

大学名	申請代表校：東京大学 共同申請校：筑波大学、富山大学
取組概要	<p>本事業では、障害学生支援について、Ⅰ. 全国の大学や学生からの障害学生支援や就労移行支援に関する相談窓口の運営のほか、Ⅱ. 大学を対象とした専門的研修プログラム（主としてオンラインでの修学支援・就労支援に関するセミナー）の実施、Ⅲ. 地域包括連携ミーティングを通じた産学官連携による就労移行プログラムの実施、という3つの柱を、障害学生の修学支援とキャリア移行支援推進事業の中核とし、全国の大学や企業、行政機関との連携を実現する体制を構築した上で実践する。</p> <p>また、事業実践については、連携校との共同事業を核として、東京大学が「障害と高等教育に関するプラットフォーム形成事業PHED」で構築してきた全国121の大学及び企業・団体とのネットワークおよび、大学・企業との連携で構築した8つの専門部会、全国100校以上の大学が参加するAHEAD JAPAN等との連携、PHEDで実施してきた全国各地での地域ネットワークとの連携を活かし、事業の3つの柱を効果的に実現する。</p>

大学名	申請代表校：京都大学 共同申請校：大阪大学、筑波技術大学、広島大学
取組概要	<p>高等教育機関における障害学生支援のネットワークを強化し、スタンダードの構築を目指すことが本事業の目的である。この目的を果たすために、事業展開をⅠ. 高大接続・移行支援（高専への進学時含む）、Ⅱ. 入学後の合理的配慮の提供をはじめとした修学支援、Ⅲ. 大学等から社会へ進出する際の就労支援をはじめとした社会移行支援の3つのフェーズに分けて、以下の具体的な取り組みを実施する。</p> <p>①ネットワークを活用した障害学生支援ノウハウの共有化プログラム ②地域包括ネットワークの形成プログラム ③ネットワークを活用した障害学生支援に関する相談プログラム ④各プログラムの情報アーカイブと普及・展開</p> <p>また、いずれの事業においても一過性のものでなく、継続的に効果が波及することを目指して、各プログラムを実施するものである。さらに、事業の成果を特定の地域に限定せずに広く普及することで、本分野全体のスタンダード構築・向上を目指すものである。</p>